

2021(令和3)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
阿山地域部会 議事概要

- 開催日時 2021(令和3)年11月8日(月)午前10時00分～11時00分
■開催場所 阿山保健福祉センター1階・会議室1
■出席者 (敬称略)

【委員】

上林 良畝(河合地域住民自治協議会会長)
岩崎 吉和(靱田自治協議会会長)
中島 美輝(玉滝地域まちづくり協議会会長)
藤森 宣博(丸柱地域まちづくり協議会会長)
本田 基久(伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会会長)
中森 研(伊賀市社会福祉協議会地域支援課長)
古川 一司(伊賀市商工会阿山支部長)

【事務局】

交通政策課：課長 吉岡 徹也、主幹 坂森 莊平、主任 中川 達司
阿山支所：支所長 川瀬 正司
阿山支所振興課：課長 吉岡 一、主幹 福西 高英、主任 瀧藤 孝尚

- 傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会 挨拶：阿山支所 川瀬支所長
2. 部会長、副部会長の互選について
(互選結果・敬称略)
部会長 上林 良畝(河合地域住民自治協議会会長)
副部会長 岩崎 吉和(靱田自治協議会会長)
3. 協議事項
・阿山行政サービス巡回車の運行計画の変更について
事務局から資料に基づき説明。

【質疑応答】

部委員	第1便と第7便の利用率はかなり低いとのことなので、減便は仕方がないことだと思うが、今後、地域の高齢化も進み免許返納者が増えていくことが想定される。その場合、便数等考えるのか。
事務局	そういうことになると思います。使ってくださるということでしたら、戻すことも考えていかなければなりません。
部委員	比自岐のコスモス号は地域が中心になって運行しているが、阿山も住民を巻き込んで運行するとかして、もっと乗ってもらえないかという思いがある。

事務局	利用される方に地区市民センターまで来てもらって、バスはセンターをつなぐのも一つの方法かと思います。また、まちづくり協議会の移送サービスと連携できればとも思います。
部委員	阿山地区は鉄道がなく、頼るのは行政バスしかない。そのところをわかっておいてほしい。

【承認】

4. その他

・阿山行政サービス巡回車に係る検討事項

事務局から資料に基づき説明。

【質疑応答】

部委員	今は、「槇山新田上」等のバス停の利用者はいないということであるが、1年経つたびに状況は変わると思うので、2・3年ぐらいで見直しを行ってほしい。
事務局	状況が変わってきたら、見直しが必要になると思います。一旦廃止しても、データ等は残っているので復活させることは難しくなっていると思います。 コロナ禍であり、また運転手不足や燃料費の高騰など行政バスは増便もままならない状況にあります。今回の見直しは、行政バスを存続させるための見直しです。まず今ある交通機関を使っていただき、既存のものを残していきたいということがあります。多くの方に乗っていただけるのであれば、それに見合った運行計画が必要になってきます。

・玉滝線について

事務局から資料に基づき説明。

【質疑応答】

事務局	厳しい状況ですが、三重交通からは令和4年度は玉滝線を運行する見込みと聞いています。
部委員	なぜ玉滝までバスが運行しておらず阿山支所止めなのに、路線の名称は「玉滝線」というのか。利用者は、玉滝まで行けると誤解するのではないか。
事務局	路線名の件については、機会をみて三重交通へ確認します。

・その他

部委員	介護予防を考える会では、令和2年から移動手段の勉強会をしてきた。今年度、社協の事業として65歳以上の方を対象にアンケートを実施する。11月末頃を予定。今後も、阿山の交通課題
-----	--

	を検討していきたい。
事務局	行政バスに愛称を付けるといった取り組みから、市民の方に浸透させ、イメージアップを図っていければと思います。
部委員	担い手不足の話が先ほど出たが、現役を終えた後の活動が素晴らしいということを伝える講習や研修を行政機関や社協でしてくれたらと思う。
事務局	今後の事業にそういったことも意識していきたいと思います。

(終 了)